

社協だより まんのう

2025
1月発行
VOL.74



仲南こども園クリスマス訪問
(仲南地域福祉推進委員会)



元気ふれあい
ほつと安心

地域で共にいきるまちづくり



この広報誌は赤い羽根共同募金の助成により作成しています。

まんのう町社会福祉協議会 会長表彰

民生委員児童委員表彰

神余 正浩 瀧下 弘子
西山 正則 吉田 悦子
宝智 久子 尾崎 和代
西原 健司

社会福祉団体役員表彰

増田 一利 京兼 愛子

社会福祉団体職員表彰

溝渕 友香理 (社会福祉法人正友会)
三角 理絵 (社会福祉法人正友会)
高田 雅史 (社会福祉法人正友会)
長原 由加理 (社会福祉法人
まんのう町社会福祉協議会)

社会福祉事業のボランティア表彰

宮武 田鶴子 平田 七枝
佐藤 照美 眞鍋 三津子

(順不同・敬称略)

大会宣言

少子高齢化や人口減少の進展により、家庭や地域のあり方が変容し住民相互のつながりが希薄化する中、約三年間にわたるコロナ禍や国際情勢の変化に伴う経済的な影響も重なり、生活困窮者や社会的孤立、ひきこもり、虐待、ヤングケアラーなど深刻な地域生活課題が顕在化しています。

このような状況の中、誰もが住みなれた地域で、その人らしく安心して暮らしていくためには、身近な人の抱える悩みに気づき、寄り添った支援を提供できる地域社会が強く求められています。

このときあたりに、福祉関係者は行政や専門職、関係諸機関と一層の連携を深め「元氣 ふれあい ほつと安心 地域でともに生きるまちづくり」に向けて、それぞれの立場で次の事項に取り組みことをここに宣言します。

一、見守り、声かけにより、地域の絆を育みます。

一、お互い様のつながりや支え合いにより、安心できる居場所づくりを進めます。

一、与えられた命に感謝し、一人ひとりのところに寄り添い、ともに生きるまちづくりを推進します。

令和六年十二月十四日

第十九回まんのう町社会福祉大会

市民後見人活動への関心高まる!

落語と寸劇で成年後見を学ぼう!～地域で支える自分らしい生き方～と題し成年後見制度の研修会が11月8日まんのう町民文化ホールで開催されました。この研修会は、中讃西圏域の市町社協と香川県社協の共催で開催されたもので、104名の参加がありました。

まんのう町社協の宮地副会長の挨拶のあと、どんぐり亭ぼりすの眞鍋強様より「手口を知ろう特殊詐欺」と題した落語で、楽しく特殊詐欺の手口と対策を学びました。

次に劇団つむぎ様による「市民後見人 長谷川さん」の寸劇では、市民後見人の活動内容や成年後見の制度についてわかりやすく学ぶことができました。

参加者からは、「市民後見人の活動に興味をもった。」「市民後見人養成研修を受講してみたい。」などの声があり、市民後見人への興味や関心が高まった研修会となりました。



市民後見人とは、養成研修を受講して成年後見人等として必要な知識を得た一般市民の中から、家庭裁判所が成年後見人等として選任した方です。地域の身近な存在として、本人の意思をきめ細やかに把握しながら後見活動を行うことができると期待されています。

まんのうささえあいサービス

高齢者等の日常生活のちょっとしたお困りごとを、地域のつながりの中で受け止め、できる範囲内でささえあう、会員制の有償ボランティアサービスです。

協力会員交流研修

登録済みの協力会員を対象とした研修を年2回開催しています。

場所：町役場仲南支所

6月25日(火)



講話：「高齢者福祉」について

講師：まんのう町地域包括支援センター
センター長 庄 智裕 氏

11月22日(金)



講義：「発達障害の理解と対応について」

講師：香川県ふじみ園 相談支援センター
地域支援マネジャー 鶴窪 彩子 氏

サービス利用の申込は随時受け付けております。

困りごとへの支援に向けて、ボランティア(協力会員)と利用希望者(利用会員)との調整を行います。

※ ご依頼の内容によっては、サービスの提供をお断りする場合があります。

詳しくは 事務局：まんのうささえあいセンター(町社協満濃出張所内 ☎0877-75-5081)まで。



式典後の記念講演では、香川大学教育学部附属特別支援学校校長 坂井 聡様を講師に迎え、「発達障がいのある人とのコミュニケーションのコツ」と題して講演いただきました。「隣の席の人に自分の良いところを10個伝えよう」というワークでは、自分のできていることや価値を認め大切にする視点を持つことで、周りの人にも寛容になれることなど、多様性を受け入れられる社会に向けて大切な「共感、肯定、寛容」の視点を学びました。参加された方からは「具体的でわかりやすい話でよかった」「今後の生活に生かしていきたい」「自分を見つめなおす機会になった」などの感想をいただきました。



功労者表彰に続いて行われた大会宣言は、会場の皆様の賛同をいただき採択されました。



琴南小学校

琴南小学校では、春の遠足で利用する「ことなみ土器とき広場」にて、ボランティア清掃を実施しています。今年度も、3つの縦割り班に別れて全ての学年の児童が協力し、ゴミ拾いの活動をしました。また、広場から学校へ徒歩で戻る際にも、ゴミを拾いながら帰りの道路を清掃しました。子どもたちからは、「土日はたくさんの人が来てごみを捨てるから困っている。」「そのごみをボランティアで集めている5年生がいるよ。」という声が聞こえました。

6月と10月は、校内の花壇に花を植える緑化活動を実施しました。夏場には、猛暑の中でも花を枯らさないようにと、高学年の児童がボランティアで水やりをしていました。子どもたちの生活の場からよく見える位置に植えることで、「自分たちで大切に育てたい」というボランティア意識の高まりが見られました。



仲南小学校 高齢者疑似体験をしてお感想をご紹介します。

10月4日(金)に高れい者ぎじ体験をしました。手におもりをつけ、おはしを使って豆つかみをしました。いつもみたいにうまくつかめず大変でした。

おとしよりの苦労がよくわかりました。これからは、おうちのおじいさんやおばあさんのお手伝いをしてあげたいと思いました。

3年 岩田 紗葉

高れい者ぎじ体験をたくさんした中でわたしは車いす体験が一番心に残っています。だん差があるところは一声かけておしました。

おじいさんやおばあさんのなかには、一人でお風呂に入ったり、トイレに行くことができなかったりする人がいることがわかりました。たいへんぺんきょうになりました。

3年 小西 美怜愛



この事業は、共同募金の助成を受けて実施しています。

令和6年度 ボランティア養成事業

知恵袋教室を開催しました

11月6日(水)四条公民館にて知恵袋教室を開催し、まんのう町社協の事業に関わるボランティアや福祉活動に関心のある方など、36名が参加しました。

「老いと演劇」OiBokkeShi(オイボッケシ)を主宰する俳優で介護福祉士の菅原直樹様を講師にお迎えし、「老いと演劇 認知症の人と“いまここ”を楽しむ」と題してお話しいただきました。



演劇体験を通じて楽しみながら、認知症の人とのコミュニケーションを考えるとといった内容で、心のゆとりを持ち認知症の方に寄り添った介護の仕方について理解が深まりました。

参加された方より「本人達の気持ちを否定せずに対応する方法がよく分かりました。」「これから介護者になるかもしれない際は先生の言葉を思い出して介護したいと思います。」との感想をいただきました。



この事業は、共同募金の助成を受けて実施しています。

見守り・声かけ・ほっと安心事業

研修会開催

11月26日(火)13時30分より仲南支所2階大会議室において開催されました。

琴平警察署 生活安全課 高地真由様より「特殊詐欺の実態と予防対策について」というテーマで、特殊詐欺の種類や巧妙な手口による被害の実態と、被害に遇わないための予防対策の必要性をお話しいただきました。身近に潜む危険性を実感し、他人事ではなく、自分事として、被害を防ぐ方法を今一度考えるよい機会となりました。



※令和6年度活動の実績報告及び助成金交付請求書の提出は
2月28日(金)迄です。よろしくお願い致します。

ひまわり通信

ひまわりデータ (10~12月末)

「ひまわり」登録数	94組
利用者数 保護者延べ	333人
子ども延べ	347人
職員延べ	203人
講師延べ	23人
子育て支援ボランティア延べ	23人
その他ボランティア延べ	8人
その他延べ	79人

ハッピーハロウィン
10月30日・31日

ヨイショ!!
がんばった
よ〜!!

みんなで
仮装
パーティ

ひまわりミニ運動会
10月21日・22日

こんなことしたよ!

たのしいクリスマス会
12月16日・17日

サンタさんから
プレゼント!
ありがとう!

かりん健康センターへ
Trick or Treat

ハロウィン
パンプキンパイ さつまいもの
飴煮 チョコレート
スキムケーキ

もぐもぐの日

食育相談
できますよ

あめんぼさん

ベビーマッサージ

お誕生会

わが家では
使わないけど
誰かには必要な
ものたくさん
集まりました

くるくるリサイクル
11月25日~29日

親子で作品づくり

10月
ハロウィン黒猫バッグ

11月
手形でみのむし

12月
クリスマスツリー

災害に備えて 災害時対応研修・訓練を行いました!

11月30日(土)、職員を対象として、災害時対応研修・訓練を行いました。

第一部「BCP(事業継続計画)について」では、事業継続の必要性について学び、初動対応訓練を行いました。初動対応訓練では、業務時間に南海トラフ地震が発生したと想定した机上シミュレーションとBCPの読み合わせを行い、発災後にどのような行動をとるべきか考えたり、BCPに不足していることや修正が必要なのがないかなどを確認しました。

第二部「災害ボランティアセンターについて」では、災害ボランティアセンターの役割や基礎知識を学び、災害ボランティアセンター設置・運営訓練として「ボランティアの受け入れ」を中心とした業務の一連の流れを実演しました。実際に動きをしてみることで、流れが良くわかり、職員一人一人が、自分が担うことができる部分を見つけられたり、マニュアル通りではない部分に気付くことができたりました。

大規模災害が発生した場合、社協は、災害ボランティアセンターの設置・運営という重要な役割を担うとともに、災害時であっても継続して行わなければならない業務や、早急に復旧・再開する必要がある事業を抱えています。いざというときに力を発揮できるよう、平時からできることに取り組み、研修や訓練も積み重ねながら、災害に備えてまいります!



災害ボランティアセンターとは?

被災者の生活再建のために、ボランティアの力を届ける仕組みです。被災者のためにできることをしたいと参加してくれる災害ボランティアと、さまざまな困りごとを抱えている被災者をつなぎ、橋渡しする役割を持っています。

応募資格

- ・介護福祉士・看護師
- ・実務者研修修了者(旧:介護職員基礎研修、ホームヘルパー1級)
- ・介護職員初任者研修修了者(旧:ホームヘルパー2級)
- ・ヘルパー業務の経験のある方
- ・おおむね年齢60才未満の方

※自家用車でご利用者様宅等への訪問の為、必要に応じて運転免許証が必要となります。

業務内容・身体介護・生活援助

- 給料等 ・時給 1300円~2000円(業務内容による)
※通勤手当、移動時間、書類作成時間等含まず。

詳細は面談にてご説明します。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

- 連絡先 介護福祉課 ☎77-2997

登録ヘルパー募集!

利用者さんに喜んでもらえるやり甲斐のあるお仕事です。福祉の資格を活かして私たち社協職員と一緒に働きませんか? 直行直帰の勤務なので、自分の空き時間でお仕事出来ます。



善意の寄付

皆様からの善意のご寄付は地域福祉に有効活用させていただいております。本紙をもって改めて厚くお礼申し上げます。

令和6年10月1日から令和6年12月31日分



イラスト 山本恭子さん

団 体

畑道 山内 敏男

一般社団法人 仲善教育会

(敬称略・順不同)

寄付金の税額控除について

本会への寄付金は所得税及び住民税の控除対象になっています。

寄付金控除の適用を受けるには、寄付の際に交付した領収書を添付して確定申告を行って下さい。

フードドライブ活動へのご協力ありがとうございます!!

社会福祉法人 優真会の職員、理事の皆様より、ご家庭で使い切れない食材等*をフードドライブ活動としてご寄贈いただきました。町社協では、ご寄贈いただいた食材を生活に困窮している方への一時的な食料支援として、使わせていただいています。ご協力ありがとうございました。

『もったいない』から『ありがとう』へ
♥皆様のやさしさが笑顔を運びます♥

※賞味期限が概ね2ヵ月以上あり常温で保存できるもの



社会福祉法人 優真会 様より

受賞おめでとうございます

令和6年度全国社会福祉大会
厚生労働大臣表彰 (民生委員・児童委員功労者)

多田 寛 様

長年にわたる民生委員・児童委員活動の功績が認められ、受賞されました。



第13回「赤い羽根募金箱をつくろう」コンクール
香川県共同募金会会長賞

満濃南小学校5年 今田 剛心^{こうしん}さん

まんのう町の魅力が詰まった
素晴らしい作品でした!

詳しくはこちら
(ブログ記事)

